

2018年度  
会員意見調査

# 壁に届く基準施設

## 4割が「実績」「設備」満たせず

政策部は「2018年度会員意見調査」の結果（速報）を15日にまとめた。診療報酬の施設基準の増加傾向について、「反対」と回答した人は49.2%で、「賛成」は11.3%だった。施設基準で満たせない要件については、「算定など実績要件」と「医療機器など設備要件」がともに4割を占めた。施設基準の届出に大きな壁となっていることが浮き彫りになった。（4面に主な結果）

2018年4月の診療報酬改定の評価について尋ねたところ、「良かった」はわずか3.6%で、「どちらとも言えない」と合わせても2割に満たなかった。「良くなかった」「どちらとも言えない」が最多の49.2%を占めた。プラス改定の一方で施設基準が複雑化したことや、初再診料に減算のペナルティが盛り込まれたことなどが影響し、判断に迷う姿が伺える。

施設基準が増加傾向にあることについて

賛成	11.3%
どちらとも言えない	35.5%
反対	49.2%
無回答	4.0%

施設基準で満たせない要件は何ですか

歯科衛生士など人員要件	23.8%
研修の修了要件	8.5%
算定など実績要件	39.9%
医療機器など設備要件	42.3%
その他	4.4%
無回答	21.4%

施設基準で満たせない要件については、「医療機器などの設備要件」42.3%、「算定など実績要件」39.9%、「歯科衛生士など人員要件」23.8%となった。設備投資や訪問診療の実績などが届出を阻んでいる。診療報酬の改善では、根管治療や初再診料、歯

内療法などの引き上げを求める声が相次いだ。調査は、開業医会員の3割を無作為抽出し、院内経営や診療報酬、政治意識などについて尋ねた。期間は1月21日～2月4日で、回答率は21.7%だった。

## 10月から初診料251点に

診療報酬  
消費増税対応  
損税の深刻化懸念

中央社会保険医療協議会（中医協）は13日、消費税率10%への引き上げに伴う診療報酬改定案を取りまとめ、厚労相に答申した。初診料は257点から251点に、再診料は48点から51点にそれぞれ引き上げる。歯科訪問診療は1036点から1100点に、同2は338点から361点、同3は175点から185点になる。10月に診療報酬改定を実施する。消費増税に伴う診療報酬改定は、2018年12月17日の財務相と厚労相

の折衝によって本体0.41%（国費ベースで約200億円増）の引き上げで合意していた。内訳は内科0.48%（約170億円）増、歯科0.57%（約20億円）増、調剤0.12%（約10億円）増。診療報酬への補填を巡っては、前回増税時の対応で補填不足があったことを18年7月に厚労省が公表。病院や診療所などで1～2割も不足していることが判明した。増税のたびに医療機関の「損税」問題が深刻化することから、中医協では「診

## 歯初診・外来環・歯援診・か強診

### 3/17に施設基準研修会

届出は3/29必着  
歯初診は、滅菌体制と院内感染防止対策の研修を受講した常勤歯科医師が1人以上いる場合に届出ることができる。研修を受けた歯科医師がいらないのに届出した場合は、3月末までに研修を受け届出ることが必要である。研修を受講した旨の届出をしないと、4月1日以降は歯初診の施設基準の要件を満たさなくなり、初診料・再診料および歯科訪問診療料は減算された

（開催要項3面）

**カジノより医療・福祉**  
大阪府保険医協会  
副理事長 井上 賢二

健康を大きく損なうカジノ誘致が進められている。大阪府保険医協会は大阪府博決定後の昨年11月27日、医療・福祉施策に関わる「大阪府への要望」をもとに、大阪府と交渉を行い「カジノ誘致より、このような府民の不健康な状況の改善に策を尽くすべき」と求めた。しかし大阪府IR推進室は、「経済波及効果や

雇用創出が見込める」と強調。ギャンブル依存症や治安といった懸念事項への対策を講じることで「大阪モデル」を構築し、「ギャンブル依存症対策のトップランナー」を目指したい」と主張した。これに対して協会は「行政がギャンブルを勧めて依存症になる人をつくってどうするのか」と府の姿勢を厳しく批判した。呆れることほこれだけ

大阪府と大阪市が府内全高校3年生に配布したリーフ。ギャンブルを「娯楽」として「回復することは可能です」と説明したりしている。※下線は協会

**ギャンブルとの付き合い方**  
ギャンブルは、生活に問題が生じないよう金額と時間の限度を決めて、その範囲内で楽しむ娯楽です。

**Q5: 治るのでしょうか?**  
風邪やケガのような治り方をするものではありませんが、様々な助けや理解により「ギャンブルなどに頼らない生き方」をしていくことが可能です。回復することは可能です。

ギャンブルにのめり込まないためには、正面に自分の気持ちを伝える場所があることや孤立しないことが大切です。

健康を守る府政へ  
ギャンブルは依存症を伴い、家族・親族が借金の尻ぬぐいを何度もさせられることによる家族関係の悪化、お金を求めたの周りの暴力行為など、肉体的・精神的苦痛を強いられ、窃盗や万引きなどの犯罪にもつながる。本人だけでなく周りにも長年害を与え続けているのが実態だ。

3月1日からは春の火災予防週間。災害への備えを再確認すると共に、被災時のトップの対応を見つめ直したい。（Y）

## 賭博は「娯楽」なのか

健康を守る府政へ  
ギャンブルは依存症を伴い、家族・親族が借金の尻ぬぐいを何度もさせられることによる家族関係の悪化、お金を求めたの周りの暴力行為など、肉体的・精神的苦痛を強いられ、窃盗や万引きなどの犯罪にもつながる。本人だけでなく周りにも長年害を与え続けているのが実態だ。

健康を守る府政へ  
ギャンブルは依存症を伴い、家族・親族が借金の尻ぬぐいを何度もさせられることによる家族関係の悪化、お金を求めたの周りの暴力行為など、肉体的・精神的苦痛を強いられ、窃盗や万引きなどの犯罪にもつながる。本人だけでなく周りにも長年害を与え続けているのが実態だ。

**協会直通番号のご案内**  
保険請求のご相談や年金・休業保障制度のお問い合わせは直通番号をご利用ください。  
社保研究部 06-6568-7467  
共済部 06-6568-7438

**歯界**  
少雨が続き乾燥による火災が懸念されている。江戸時代には「火事と喧嘩は江戸の華」と言われるほど日常茶飯事で、大規模な火災も多かった。大火は幕府の大きな財政負担となった。10万人超が亡くなった明暦の大火では幕府ナンバ12の保科正之が救援を指揮した。連日炊き出しを実施し、焼け出された町民に16万両を支給した。財政を心配する幕閣に対し、正之は「幕府の貯蓄はこういう時に使って民衆を安堵させるためのもの」と一喝したという。大経大客員教授の岡田晃氏のコラムにあった。

昨年、大災害に見舞われた大阪では、10万件を越す一部損壊被害への府独自の支援金が「財政」を理由に見送られた。台風21号の災害対策本部は設置されず、陣頭指揮を執るはずの知事は被災の3日後に沖縄知事選挙支援と外遊に発った。